

地域づくりネットワーク福岡県協議会 平成 30 年度北九州ブロック会議 実施報告

日 時:平成 30 年 12 月 15 日(土)16:00~18:00
場 所:八幡西生涯学習総合センター 204 会議室
(北九州市八幡西区黒崎 3-15-3 コムシティ 2 階)
参加者:10 団体(うち会員団体 9) / 29 名(行政を除くと 23)

1 「ふくおか地域づくり活動賞」受賞歴のある団体による座談会

【パネリスト(五十音順)】

- ・ 到津の森公園 市民ボランティア 森の仲間たち 会長 井上 裕文氏
- ・ 枝光北まちづくり協議会 会長 林 和己氏
- ・ NPO 法人北九州タウンツーリズム 代表理事 大内田 佳介氏
- ・ 堀川再生の会・五平太 会長 中村 恭子氏
- ・ 水巻町運動普及推進連絡協議会すまいる・すまいる 会長 川内 美知子氏

【コーディネーター】

榊まちづくり計画研究所 代表取締役 今泉 重敏氏

これまでに「ふくおか地域づくり活動賞」を受賞されたことのある団体の代表者にパネリストとな
っていただき、座談会を開催しました。

パネリストのお話から、それぞれ「到津の森公園 市民ボランティア 森の仲間たち」は『動物
園を残そうの思い』、『したい事をできる範囲で楽しく』、『自主運営』、枝光北まちづくり協議会は
『団体と築くまちづくり』、北九州タウンツーリズムは『初めてのものに挑戦』、堀川再生の会・五平
太は『川の再生』、『堀川を核としたまちづくり』、水巻町運動普及推進連絡協議会すまいる・す
まいるは『心と身体の健康づくり』、『すすんで、まいいち、いきいき、るんと』といったキ
ーワードが出ました。



1.1 到津の森公園 市民ボランティア 森の仲間たち

「到津の森公園 市民ボランティア 森の仲間たち」からは①西日本旅客鉄道株が平成 10
年に到津遊園を閉園すると発表したとき、市民 26 万人から存続希望の署名が集まり、『動物
園を残そう』、市民で支えようと活動を開始したこと、②来る人は拒まず、去る人は追わずの考
え方で会員はそれぞれ『したい事を、出来る範囲で、楽しく』やっていること、③楽しく活動を続
けるために、グループや班ごとの『自主運営』としているが、ときにはグループ横断的なイベント
等も開催しグループ間の交流も図っていること等語っていただきました。

1.2 枝光北まちづくり協議会

「枝光北まちづくり協議会」からは、地域の課題解決のために地域の団体みんなで取り組んでいること、まちづくりには近道はない、人とのつながりがまちづくりにつながるので思いやりの心が大事だということをお話いただきました。

1.3 北九州タウンツーリズム

「北九州タウンツーリズム」からは、ナイトツアー、単身赴任者向けツアー、産業観光ツアーなど他の団体がやっていないことを実施し、今も新たなツアーの開拓に取り組んでいること、その中で、視点を変えると地域にはたくさん宝があるということをお話いただきました。

1.4 堀川再生の会・五平太

「堀川再生の会・五平太」からは、昔は「宝川」と呼ばれた堀川を魚も住めない汚れた川から水の流れる、魚の住める川に再生したいと16年間欠かさず浄化活動を続けてきたこと、浄化活動を柱に、堀川にまつわる本の発行、子どもと一緒に活動など堀川を核としてまちづくりをしていることを話いただきました。

1.5 水巻町運動普及推進連絡協議会すまいる・すまいる

「水巻町運動普及推進連絡協議会すまいる・すまいる」からは、楽しく運動を広めたいと活動していること、身体の健康だけでなく、地元公民館等家から出て皆で体操をしたり様々な曲に合わせて楽しく体操することで、生活習慣病や寝たきりを予防し心と身体両方の健康づくりに取り組んでいること等話いただきました。

2 意見交換

「座談会全体を通じて印象に残ったこと」、「各パネリストの報告に対する感想」という2つのテーマでグループに分かれて意見交換を行いました。会場は大いに賑わい、どのグループでもパネリストに対し多くの感想・質問が出ました。



2.1 座談会全体を通じて印象に残ったこと

座談会全体を通じては、各グループから『地域づくりは人のつながり』・『若い世代の参加』・『できる事をできる時にできる人が』・『自分たちが『楽しむ』ことがボランティアの精神』・『ボランティア活動は、より楽しみ、より長く』・『自分が無理なく楽しく活動すること!!継続は力なり』といったキーワードが出されました。どの団体も共通して、まず自分が楽しんで活動し、また強制するのでなく自主的な活動が行われていました。

2.2 各パネリストの報告に対する感想

それぞれもっと話を聞きたいパネリストのいるグループに移動し、パネリストの報告に関する意見交換を行いました。

- ・ 到津の森公園市民ボランティア森の仲間たち → 原点回帰と調整 そして次世代への継承
（会の今後を考えたときに、公園を陰で支え、来園者の命の大切さ、環境保全に対する意識を醸成したいという原点に立ち返ろうとなったこと、また若い世代を増やすために自分よりも10歳年下の人を勧誘するという試みが印象に残ったという意見が出ました。）
- ・ 枝光北まちづくり協議会 → 人の『つながり』がまちづくりにつながる
（グループの全員から、まちづくりとは思いやりの心、人と人とのつながりをつくることだということところが印象に残ったということで意見が出ました。）
- ・ 北九州タウンツーリズム → 楽しく新しい事に挑戦
（多くの人にまちの魅力を知ってもらうために、色々な角度からまちを見るツアーを企画し、その中でメンバーも楽しみながら活動しているところが印象に残ったという意見が出ました。）
- ・ 堀川再生の会・五平太 → 歴史を伝え 記録を残す
（折尾の宝である堀川を次世代に残すために、浄化活動だけでなくまちあるきやイベントで幅広い世代に堀川について知ってもらい、また本を発行して記録を残しているところが素晴らしいという意見が出ました。）
- ・ 水巻町運動普及推進連絡協議会すまいる・すまいる → みんな笑顔で健康づくり 見える化で楽しく続けられる!!
（色々な曲に乗って身体を動かすリズム体操や自分の努力の成果が数字で見える体力測定など、楽しく運動するための工夫が継続につながっているという意見が出ました。）

